

1. はじめに

小松社長より、下記のメールのやりとりのように、本年1月8日「おはようサンデー」の放送で、新春に鹿児島県の鹿屋基地を訪れられた話などを背景に、太平洋戦争中の特攻隊のことを紹介されたら、  
 (ご紹介「おはようサンデー」 [小松電機産業株式会社 | ラジオアーカイブ \(komatsuelec.co.jp\)](http://komatsuelec.co.jp))

[2023年1月8日おはようサンデーダイジェスト - YouTube](#)

放送を聴かれていたりリスナーさんからこれまでにないような反響がメールであった。とのこと、小松社長は戦時中の大社基地気象隊の増田善信さんと親しくしているので、ぜひ増田先生を交えた形で zoom などを駆使して世の中に増田先生の見て来られたことを知ってもらう機会を作りたい。そこでそれをふまえて大社基地保存の取り組みをしている方をご紹介頂けないか?との問い合わせをされました。ラジオ番組なども駆使したいとのことでした。(小松社長からお問い合わせを受けられた高嶋敏展様のメールより要旨を転載)

(高嶋敏展様は、写真展で出雲大社前の神門通りに立ち並ぶ 65 本の松に残る松ヤニ採取の跡を切り取った写真を紹介、旧陸軍松江第 63 連隊の赤レンガ兵舎跡の遺跡を紹介されたり平和活動に尽力されているお方)

[松の傷痕が語る戦争 出雲で写真展：朝日新聞デジタル \(asahi.com\)](#)

小松社長のアドバイスにより、旧海軍航空基地 大社基地 に関する資料や動画などを、メールのやりとりやネット記事、YouTubeなどを参考にして 以下にまとめさせていただきました。

更に、本年1月8日「おはようサンデー」の放送でも紹介されました、米子基地などにもおられました中津留達雄 海軍大尉の資料、及び増田博士の資料などを追加させていただきます。(No.32以降)

No.	内容	備考
01	 <p>戦後史会議・松江 代表 若槻真治 様                  早速メールを頂きありがとうございました。 関連資料を送付させていただきます。</p> <p>1, 対立から共生の文化へ緊急国際シンポジウム (2022年11月26日@太陽ホール)</p> <p>1) パネルディスカッション (34分から増田博士がZoomでお話されています)  <a href="https://youtu.be/NS6YAfW9Vw">https://youtu.be/NS6YAfW9Vw</a> (1時間6分)</p> <p>2, 混迷の時代から未来を拓く 正義から道理へ 歩いた後に道ができる                  緊急 Zoom シンポジウム (2022年5月19日@太陽ホール)  <a href="https://www.hns.gr.jp/download/20220519movielist.pdf">https://www.hns.gr.jp/download/20220519movielist.pdf</a></p> <p>3, 中海・宍道湖圏から世界平和を考える 太陽の國シンポジウム パンフレット  <a href="https://drive.google.com/file/d/1daZtyyf5zvm4nyjqoTJnEU2Fa9ZBCr4n/view?usp=sharing">https://drive.google.com/file/d/1daZtyyf5zvm4nyjqoTJnEU2Fa9ZBCr4n/view?usp=sharing</a></p> <p>4, 映画「築城せよ！」スペシャル座談会 2009年6月19日山陰中央新報記事  <a href="https://drive.google.com/file/d/1mQJzIsAnrUN4GDuNEpKymVIXdNeUUK4l/view?usp=sharing">https://drive.google.com/file/d/1mQJzIsAnrUN4GDuNEpKymVIXdNeUUK4l/view?usp=sharing</a></p> <p>5, ラジオ「おはようサンデー」ダイジェスト版</p> <p>1) アインシュタイン「愛の爆弾」(連結)・松江工業美術部作品紹介  <a href="https://youtu.be/Q1LmqB78DFc">https://youtu.be/Q1LmqB78DFc</a> (36分)</p> <p>2) 過去の放送 <a href="https://www.komatsuelec.co.jp/arc/arc-radio.html">https://www.komatsuelec.co.jp/arc/arc-radio.html</a></p> <p>6, 人間自然科学研究所 HP <a href="https://www.hns.gr.jp/">https://www.hns.gr.jp/</a></p> <p>*****</p>	<p>増田博士 Zoomでお話 中川先生 ご紹介</p> <p>高嶋敏展様 ご指導</p>

	<p>小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所 会長兼社長 小松昭夫  メール：<a href="mailto:akio@komatsuelec.co.jp">akio@komatsuelec.co.jp</a> 小松携帯：090-3178-3766  経営企画マネージャー ラジオパーソナリティー 浜菜みやこ  メール：<a href="mailto:hamana@komatsuelec.co.jp">hamana@komatsuelec.co.jp</a> 浜菜携帯：080-8980-5145  住所：〒690-0046 島根県松江市乃木福富町 735-188  人間自然科学研究所 HP <a href="https://www.hns.gr.jp/index.html">https://www.hns.gr.jp/index.html</a>  小松電機産業株式会社 HP <a href="https://www.komatsuelec.co.jp/index.html">https://www.komatsuelec.co.jp/index.html</a></p>	
02	<p>2023年1月8日(日) 21:59 若槻真治 &lt;i04htx1813@hi3.enjoy.ne.jp&gt;:  小松電器産業 小松昭夫社長様 浜菜みやこ様  お世話になります <b>戦後史会議・松江の若槻</b>と申します 島根史学会、島根考古学会と  ともに<b>海軍航空基地大社基地遺跡群</b>の保存活動を行っています  大社基地は、戦前の軍事用飛行場（航空基地）として当時の滑走路を大規模に残す国内で  も極めてまれな航空基地でした  また敗戦間近の追い詰められた日本海軍がほとんど最後に作ったと言ってもよい航空基地  なので歴史的価値も極めて高いものと考えています  しかし、保存運動の甲斐もなく、大部分はすでに開発され残念な状態となりました  こうした、大社基地のことを取り上げていただけるのであれば、協力することは厭いませ  んの、どのようなことをやればよいのかどうぞ遠慮なくお聞かせ願います  また、<b>増田先生</b>は、戦争中に<b>気象隊長（少尉）</b>として大社基地に勤務しておいででした  従って増田先生には具体的なお話をお聞きできると思いますが、これは大変貴重なことだ  と思えます  大社基地保存活動はまだ継続中であり、大社基地を取り上げて番組を作って頂けることは  大変ありがたいです どうぞ、今後ともよろしく願いいたします  <b>高嶋さま</b>  仲介、ありがとうございました なお、「<b>増田</b>」先生ですので、よろしく  若槻の電話番号は 090-8063-9664 です</p>	
03	<p>From: 高嶋敏展 &lt;art.works@hi.enjoy.ne.jp&gt; Sent: Sunday, January 8, 2023 2:33 PM  To: 若槻真治 &lt;i04htx1813@hi3.enjoy.ne.jp&gt;; 小松昭夫 &lt;akio@komatsuelec.co.jp&gt;; 浜  菜みやこ <a href="mailto:hamana@komatsuelec.co.jp">hamana@komatsuelec.co.jp</a> Subject: 大社基地 益田善信先生の件  小松電気産業 小松昭夫様、浜菜みやこ様  <b>戦後史会議松江 若槻真治様</b>  明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。  <b>若槻真治 様</b>  先ほど小松電気の小松社長より  「今朝の<b>おはようサンデー</b>という小松電気が主催するラジオ番組で戦争中の特攻の話しや  鹿屋基地を訪れた話などを紹介したがこれまでにないような反響がメールであった。自  分は戦中の大社基地気象隊の益田善信さんと親しくしているのでぜひ益田先生を交えた形  で zoom などを駆使して世の中に益田先生の見て来られたことを知ってもらい機会を作り  たい。そこでそれをふまえて大社基地保存の取り組みをしている方をご紹介頂けないか？」  との問い合わせを頂きました。ラジオ番組なども駆使したいとのことでした。  <b>益田先生</b>のことは大社基地に関わった人間なら誰でも知っている方で<b>大社基地講座</b>でも  zoom でお話頂いたと記憶しています。（高嶋敏展様から下記 リンクアドレスをご紹介受け）</p>	

新・ヒロシマの心を世界に 2022年4月17日(日)

**気象学者 益田善信さんの戦争体験**

独自の調査によって広島原爆後の「黒い雨」降雨範囲を分析し、黒い雨裁判で原告側住民 84 被爆者と認められる有力の根拠となる「益田雨域」で知られる気象学者益田善信さんの「戦争体験」を知る機会がありました。二カ月ほど前の 2 月 13 日に ZOOM で開催された「第 5 回大社基地講座」でのことでした。

「大社基地」については、機会を改めて詳しく紹介したいと思いますが、島根県出雲市斐川町に敗戦数カ月前の 1945 年(昭和 20 年) 3 月頃から 6 月にかけて急ぎよ建設された旧海軍の航空基地のことです。現在市民団体によって保存と有効活用を求める運動が続けられています。その市民団体が主催して開催されたのが「大社基地講座」です。

「大社基地」については、昨年来中国新聞でも何回か報道されたことがありますので、興味を持っていました。私も小学校 6 年生の時に社会見学で訪れたことがあり、特別の場所でしたので、この講座を視聴しました。

この講座の最初に、司会者が「今日は、かつて大社基地で働いていた人にも参加していただいています」と紹介がありました。「どんな人だろう」と思っていました。講座の途中で紹介されたのが、気象学者の益田善信さんでした。



実は、ZOOM がつながった時、参加者が映る画面に「益田善信」さんの名前を見つけた時、「なぜ益田さんが？」と思っていました。講座の最後の頃に益田さんの話を聞いて納得です。益田さんこそが、大社基地の体験者だったのです。

「1945 年 6 月中旬、米子の美保基地から、気象隊の隊長として大社基地に来ました。初めの一カ月は、基地の気象を調査、発表。7 月 20 日過ぎに宮崎と大分の基地から銀河約 50 機が大社基地にやって来た。

そして 8 月 6 日に 7 機、7 日に 6 機、8 日に 6 機がこの大社基地から特攻機として飛び立った。1 機が飛び立つのに 40 分以上かかったので、宍道湖の周りを巡回しながら待ち、夕焼けの中を飛んで行った。宮崎の都井岬を過ぎると米軍のグラマンに撃墜され、沖縄までたどり着いたのは、1~2 機だったと思う。特攻機が飛んだのは、大社基地が最後ではなかっただろうか」

当時益田さんは、海軍少尉でした。益田さんの話では「銀河の特攻」が強調されていますが、確かに無事に帰還した銀河は少なかったようですが、銀河の役割は、雷撃の通常攻撃だったと思われ、「特攻」ではなかったと思われます。益田さんの「黒い雨雨域」の講演は何度も聞いたことがあります。まさか出雲という場所につながっているとは思いませんでした。1923 年(大正 12 年)生まれの益田さんは、98 歳の高齢ですが、きちんとしたお話には、びっくりしました。

この体験が、「科学者は二度と戦争には協力しない」というその後の益田さんの活動の原動力になったといわれています。いのちとうとし 以下 転載省略

増田先生が益田と誤記されています

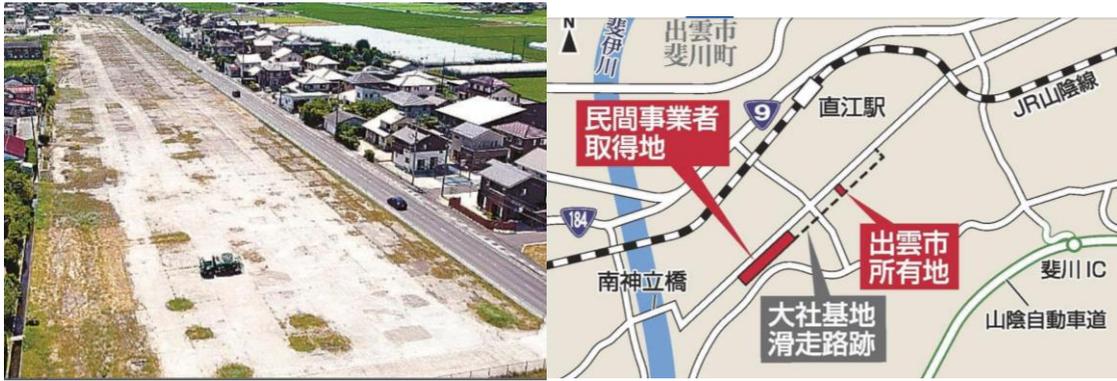
(再掲)  
増田先生が益田と誤記されています

小松社長は自分が直接電話で大社基地関係の方とやり取りをとおっしゃられましたが、企画がこれからという前段階なのでラジオパーソナリティーで小松電気の経営企画・マネージャーを兼務しておられる浜菜みやこさんを交えてが良いかと思ひ合わせてご紹介いたします。小松社長か浜菜さんとやり取りをお願いします。

小松社長 携帯 090-3178-3766 浜菜さん 携帯 080-3161-2483



	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <b>重要</b> </div> <p><a href="#">20221211 第7回大社基地講座「戦争遺跡の調査研究—陸軍前橋飛行場と海軍大社航空基地—」(菊池実先生) - YouTube</a></p> <p><a href="#">2022年5月15日第6回大社基地講座「考古学からみた大社基地遺跡群の特質」(岩本崇) - YouTube</a></p>	
09	<p><b>重要資料 旧海軍大社基地遺跡群の解説チラシ 大社基地の明日を考える会 発行</b></p> <p><a href="https://drive.google.com/file/d/1Xvx0D3WbMRf6-GfAIKf1dS_GxJbw1O28/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/1Xvx0D3WbMRf6-GfAIKf1dS_GxJbw1O28/view?usp=share_link</a></p>	
10	 <p>出雲の戦争の歴史 (海軍大社基地・7月28日空襲・学童集団疎開) 375 回視聴・1年前 Hitoshi Naora2 製作者の伊藤耕一氏から提供を受けた内容を15分にしたダイジェスト版です 国民学校6年生の時いずれも体験しました。</p> <p><a href="#">出雲の戦争の歴史 (海軍大社基地・7月28日空襲・学童集団疎開) - YouTube</a></p>	
11	 <p>山陰が戦場になった夏～大山口・玉湯列車空襲、そして大社基地～ 744 回視聴・1年前 山陰中央新報社 戦後76年、戦争末期の空襲でどがな山陰地方でも多数の犠牲者を出した。若手記者が体験者の声を聞き、当時の歴史に迫る。</p> <p><a href="#">山陰が戦場になった夏～大山口・玉湯列車空襲、そして大社基地～ - YouTube</a></p>	
12	<p><a href="#">山陰が「戦場」になった夏 ～大山口・玉湯列車空襲、そして大社基地～ 山陰中央新報・Yahoo!ニュース共同取材   山陰中央新報デジタル (sanin-chuo.co.jp)</a></p> <p><a href="https://drive.google.com/file/d/14Goy-SEeB-yd6yVrZ6Q_j0wpZzyeisSJ/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/14Goy-SEeB-yd6yVrZ6Q_j0wpZzyeisSJ/view?usp=share_link</a></p>	<p>別途に 記事まとめ</p>
13	 <p>大社基地探訪 125 回視聴・1年前 日本戦跡協会 滑走路や地下壕群を紹介します。</p> <p><a href="#">大社基地探訪 - YouTube</a></p>	
14	 <p>旧日本海軍大社基地関連施設群を訪ねて 73 回視聴・1年前 旗野一平 2021.02.23 オートバイでツーリング中に案内板を見つけた。この辺りは旧日本海軍大社基地があったらしいので、ちょっと...</p> <p><a href="#">旧 日本海軍大社基地関連施設群を訪ねて - YouTube</a></p>	
15	 <p>旧海軍大社基地関連施設群 140 回視聴・3年前 HAPPY SCREAMING PROJECT 旧海軍大社基地関連施設群 太平洋戦争末期の昭和二十年（一九四五）三月から八月にかけて、旧福川郡出雲村地内の新川、廣川地を...</p> <p><a href="#">旧海軍大社基地関連施設群 - YouTube</a></p>	
16	 <p>【ラーツー】ラーメンツーリングスーパーカブ90カスタムで島根県出雲市の大社基地（新川基地）跡へ行って来た！ 2019.9.16 466 回視聴・2年前 摩利支天 広島市内から島根県出雲市の大社基地（新川基地）跡まで愛車のスーパーカブ90カスタムでラーメンツーリングに行ってきました...</p> <p><a href="#">【ラーツー】ラーメンツーリング スーパーカブ 90 カスタムで島根県出雲市の大社基地（新川基地）跡へ行って来た！ 2019.9.16 - YouTube</a></p>	

17	<p><b>出雲市 大社基地跡 土地の一部交換 取得へ民間事業者に提案</b>  山陰中央新報 2021/9/9 04:00  民間事業者が所有する滑走路跡＝出雲市斐川町出西（小型無人機で撮影）</p>  <p>太平洋戦争末期に建設された西日本最大規模の旧海軍飛行場・大社基地滑走路跡（出雲市斐川町出西）について、約2万7200平方メートルを所有する出雲市の民間事業者に対し、市が自ら持つ土地との交換を提案したことが8日、分かった。跡地内の市有地約2900平方メートルを提供し、民間事業者から同程度の土地を得たい考え。平和学習の場として活用する。（月森かな子）</p> <p>滑走路跡地は約9万平方メートル（全長約1500メートル、幅約60メートル）がコンクリート舗装で、管理する国が、民間へ売却してきた。往時の姿を残すまとまった土地としては、映像・音楽ソフトレンタル業を手掛ける「アリオン」（同市今市町）が今年2月に購入した2万7200平方メートルが最大。市などと協議しながら、活用策を検討する考えを購入時に示した。</p> <p>専門家らが島根県教育委員会や出雲市に対し、総合的な学術調査や県指定史跡としての保存を要望。市は戦争の記憶を後世に伝えるため、民間事業者による開発前に土地の記録保存に向けた調査を計画。開会中の9月定例会市議会に調査費1千万円を計上した。</p> <p>最近の新型コロナウイルス感染拡大の影響で、広島県内への修学旅行を見合わせ、平和学習を目的に滑走路跡などに訪れる市内外の小中学校が増加。身近に戦争があったことを伝える場所として、注目が集まっている。市は、市有地よりも民間事業者の土地のほうが保存・活用に適していると判断したとみられる。</p> <p>大社基地は本土決戦に備えて旧海軍が1945年3月に建設を始め、約3カ月で完成。当時最新の爆撃機「銀河」が配備された。滑走路周辺には爆撃機を隠すための掩体（えんたい）や魚雷庫、爆弾庫などの施設も造られ、一部は現存する。</p>	
18	<p>2022年1月31日 山陰中央新報 <b>大社基地跡の企業取得地 アリオンが宅地開発計画</b>  <a href="https://drive.google.com/file/d/13FFPsPI4o59XcNOQ_XZr77pQXMEt1bsZ/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/13FFPsPI4o59XcNOQ_XZr77pQXMEt1bsZ/view?usp=share_link</a></p>	

旧海軍大社基地遺跡群 主滑走路



旧海軍大社基地遺跡群 主滑走路 (2021.6.10) .png (2.6 MB)

MB)



旧海軍大社基地遺跡群 主滑走路 (2021.6.10) .png (3.0 MB)



地域遺産名	旧海軍大社基地遺跡群 主滑走路
Category 1	文化遺産
Category 2	遺跡
タグ	
時代・年代	1945 (昭和20) 年
市町村	出雲市
場所	出雲市 斐川町 出西
座標 (経度)	132.801286
座標 (緯度)	35.368366

標高 (m)

概要

太平洋戦争末期の1945 (昭和20) 年3月から6月にかけて、新川跡に建設された西日本最大の軍事拠点である。主滑走路は、長さ1700m・幅120mで、このうち長さ1500m・幅60mは型枠作り工法のコンクリートで舗装されている。主として最新鋭の陸上攻撃機「銀河」の離発着用に作られ使用された。また、人間爆弾「桜花」も配備されていた。滑走路の保存状況は非常に良く、日本でも最大級の戦争遺跡である。

文献

1972『斐川町史』  
陰山慶一 1996『いま甦る大社基地』島根日日新聞社  
横原吉則・足立正編著 1998『川の中の飛行場・汗と涙の青春-新川基地』  
池橋達雄 2002「陸上自衛隊出西訓練場 (旧海軍大社基地関連施設群)」『島根県の近代化遺産 島根県近代化遺産 (建造物等) 総合調査報告書』島根県教育委員会  
島根史学会・島根考古学会・戦後史会議 松江 2021『旧海軍大社基地遺跡群』

所有・管理

画像著作権者

関連リンク1

関連リンク2



<https://www.akinokuni.jp/g/201410taisyakichi.html>



## 旧帝国海軍：大社基地

松江道（中国横断自動車道尾道松江線）が開通して広島から松江が近くなりました... って、今頃その話かと感もなきにしもあらずですが、そんな松江道を利用して出雲市斐川町にある海軍大社基地跡を訪れました。ずっと気になっていた戦争遺構なので、松江道に感謝です。



### コンテンツメモ

- 訪問日：2014.10.11
- 場所：島根県出雲市
- 行程：中国道 - 松江道
- X-M1 + XC 16-50mm F3.5-5.6 OIS

### サイトマップ



## 大社基地

大社基地は戦争末期の1945（昭和20）年3月から建設がはじまった航空基地です。6月末には完成し、実際に爆撃機「銀河」がこの大社基地から出撃しています。



滑走路跡の西側に説明がありますので記します。

### 旧海軍大社基地関連施設群

（陸上自衛隊出西訓練場跡）  
ここは、太平洋戦争末期の昭和二十年（一九四五）三月から六月にかけて、旧簸川郡出西村地内の新川廃川地を中心に建設された旧海軍航空基地です。

基地には滑走路のほか、誘導路、魚雷調整庫、爆弾格納庫

など主要施設があり、今も山麓の谷あいに残りを見ることができます。

滑走路の建設作業には、舞鶴海軍鎮守府から約一〇〇〇人の将兵や美保基地から飛行予科練習生（予科練）があたり、地元民や学童たちも動員されました。また各村の国民学校は宿舎にあてられていました。飛行機が実際に発着した舗装面は、延長一五〇〇メートル、幅六〇メートルでした。

飛行隊員として第五航空艦隊所属約八〇人が配属され、登場する飛行機は、最新鋭の陸上攻撃機「銀河」で、常時約五〇機が配備されていました。ここから「銀河」が終戦まで数度南方の海上へ飛び立っていきました。「銀河」に装着された人間爆弾「桜花」も配備されていましたが、使われずに終戦となりました。

平成二十三年八月 斐川町

設営部隊は第 338 設営隊（富田技術大尉を指揮官として士官および曹長 9 名、下士官 19 名、兵 408 名 ※3 月時点）。この設営隊に加え、説明にあるように美保航空部隊（前田隊）予科練の者や地元民、学童なども加わって 4 ヶ月弱という短期間で建設されました。第 338 設営隊の戦時日誌を参考に少し振り返ってみます。

22

23

第 338 設営隊 戦時日誌より

3 月の新川航空基地の滑走路誘導路掩体等を急遽造成すべしという舞鶴鎮守府命令により

	<p>この<b>大社基地</b>の建設が正式に決まります（※当初は<b>新川基地</b>と記されています。それがどういった理由かわかりませんが<b>大社基地</b>に）。3月は資材確保、輸送方針の決定、各部隊の進駐宿舎準備など、いわゆる準備作業のほかに測量などを行なったようです。ところで、3月の戦時日誌には一点気にとめておきたいところが。</p> <p>それは設営実施方針にある<b>"第二新川基地"</b>。鎮守府命令には2つの新川基地の造成があったようです。その命令に対して設営実施方針では、<b>第二新川基地</b>の造成は<b>第一基地</b>と両立が不可能なのでまずは<b>第一基地に全力</b>を注ぐとあります。</p> <p>4月に入ると滑走路や誘導路の作業が始まります。作業は残業夜業の連続だったようですが、前田隊の奮闘努力により遅延なく進められていきました。</p> <p>5月には滑走路コンクリート打の作業が完了。飛行機走行試験により運搬路不良箇所舗装を実施します。車輪格納所や燃料格納所なども完成していきました。また、5月10日には誘導路や退避壕の追加工事が令達されます。</p>	
24	<div data-bbox="188 680 743 1048" data-label="Image"> </div> <p>前田隊の奮闘努力で作られた<b>滑走路</b>の現在です。ここから<b>銀河が戦地に向けて飛び立っていた</b>のでしょうか。なお、大社基地の建設にあたった予科練の者たちの多くはこの後、各地の特攻基地や本土決戦に向けての基地に向かっていきました。</p> <p>そして<b>6月</b>には遂に<b>基地隊・航空部隊</b>が進出してきました。作戦経過概要によると現任務に加えて第二新川基地の予定地に特攻基地及特攻機兵器格納所新設の新任務を受けます。3月の戦時日誌にあった<b>"第二新川基地"</b>ですが、この記載から想像する限り、第二新川基地について当初は特攻機専用とは考えていなかったということでしょうか？ また、この頃になると飛行機も進出してきており、補修作業などもあったようです。</p> <p>最後に7月。この月の主要工事は<b>既設航空基地（直江基地</b>と記されています）の整備強化と<b>特攻基地及特攻機桜花</b>の格納とあります。このうち第338設営隊の主任務分、既設航空基地の機能強化と桜花掩体30機分新設については前田隊の協力により期日までに完了とのこと。また、作戦基地となったことで飛行機出撃待機所の要望があがり、これについては約2日半で22機分完成させています。</p> <p>7月の戦時日誌の最後にこの特攻基地整備に関する命令が記されています。ここには<b>桜花40機分</b>の掩体のほかに中練20機分も記されています。この中練分や滑走路については第3311設営隊が担当したと思われるのですが、第3311設営隊については戦時日誌を見つけることができませんでした。</p> <p>戦後 引渡目録をみると、<b>終戦時</b>に大社には<b>銀河11型30機</b>（良品15、不良品15）、<b>銀河16型12機</b>（同8、同4）、<b>96式陸攻</b>とキ67が1機ずつ基地周辺の掩体にあったようです。桜花については主翼や尾翼、胴体などの部品がさまざまな場所にありました。</p>	

25		<p>上写真は戦後に撮られた大社基地跡が写った写真。滑走路のあとがわかります。ここが今回訪れて写真も載せたものです。そして下の写真が上写真の東側となります。</p>	
26		<p>引渡目録の最後に大社基地の要図があるのですが、そこで記されている小型機用の応急滑走路（幅 30m、長さ 600m）というものがこの写真の右部分の一部。600m という長さは「国安牧場」と同じものであり、この応急滑走路と記されているところが第 338 設営隊戦時日誌にある特攻基地なのでしょうか。</p> <p>この大社基地跡のことを知ってから数年経ちます。これまでに訪れた方々のページを読んでいたのですが、今回出かけてみると以前と比較して滑走路部分に建物がたっていることに気がつきました。こういった滑走路とわかるような感じで見ることができないのかもしれないかもしれません。気になった方、いまのうちに外かけてみてはいかがでしょうか？</p>	
27	<p><b>参考にした書籍など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">JACAR(アジア歴史資料センター)</a> Ref.C08011074600、航空隊 引渡目録 5 / 1 4 (防衛省防衛研究所)</li> <li>• <a href="#">JACAR(アジア歴史資料センター)</a> Ref.C08030300600、昭和 2 0 年 3 月 1 5 日～昭和 2 0 年 7 月 3 1 日 第 3 3 8 設営隊戦時日誌(防衛省防衛研究所)</li> <li>• <a href="#">JACAR(アジア歴史資料センター)</a> Ref.C08030300700、昭和 2 0 年 3 月 1 5 日～昭和 2 0 年 7 月 3 1 日 第 3 3 8 設営隊戦時日誌(防衛省防衛研究所)</li> <li>• <a href="#">国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス</a></li> </ul> <p>このページの公開日：2014.10.30</p>		
28	<p>西日本最大の拠点、島根「大社基地」 旧海軍の飛行場跡、消滅危機 国、企業に売却／市民団体、史跡指定要望 社会 夕刊社会 毎日新聞 2021/8/31 東京夕刊 有料記事 1985 文字</p>  <p>第二次世界大戦末期に建設された大社基地の滑走路跡。当時としては珍しいコンクリート舗装で、重要拠点と位置づけられていたことが分かる＝島根県出雲市斐川町で 2021 年 6 月 8 日、松原隼斗撮影</p> <p>全国でもわずかしこ現存しない旧日本海軍の飛行場跡が消滅の危機にある。国が、DVD レンタル店などを経営する企業に跡地を売却したためだ。市民グループが史跡に指定する</p>	<p>アリオン</p>	

	<p>よう自治体に要望したが、拒まれているという。飛行場は第二次世界大戦末期に急造され、追い詰められた「大日本帝国」の末路を象徴する存在意義もある。なぜ、文化的遺産と認められないのだろうか。</p> <p>出雲大社で知られる島根県出雲市。ここに海軍の飛行場「大社（たいしゃ）基地」（同市斐川（ひかわ）町）の跡地がある。建設されたのは1945年3～6月。硫黄島や沖縄が相次いで陥落し、本土の都市部が激しい空襲にさらされていた時期だ。本土決戦に備え、地元の子どもらも動員して急ぎよ造られた。主滑走路は20万4000平方メートル（全長1700メートル、全幅120メートル）で、うち9万平方メートル（長さ1500…以下 転載省略</p>	
29	<p>朝日新聞デジタル記事 <b>旧海軍航空基地跡、法人が入札 「一部でも遺構残して」</b>      榊原織和 2021年1月23日 9時30分</p>  <p>今も滑走路のコンクリートが残る旧海軍大社基地跡      =島根県出雲市斐川町</p> <p>【島根】国有地で、第2次世界大戦末期に海軍航空基地として造られた大社基地の跡地（出雲市斐川町出西）の売却が決まった。管理する財務省中国財務局が21日、法人に落札されたことを発表した。落札者や落札価格は非公開で、今後の用途は不明。大社基地の歴史を知る人は、遺構の一部でも残してほしいと願っている。</p> <p>売却されるのは、滑走路だった約2万7200平方メートル。最低売却価格は1億7600万円で、先月入札を受け付けていた。旧大社基地の跡地は、2003年ごろから県や旧斐川町に部分的に売却された。16年には約1万600平方メートルが企業に売却され、ソーラーパネルなどが建てられていた。今回、その残りのコンクリートが敷かれた空き地すべてが売却された。</p> <p>大社基地は1945年3～6月に建設された。飛行隊員約80人が配属され、当時最新鋭の爆撃機「銀河」約50機が配備され、南方へ出撃していたという。</p> <p>荒神谷博物館（出雲市斐川町神庭）の企画員で、斐川町の戦争遺構などを研究している宍道年弘さんは、大社基地跡について「周辺の魚雷庫や軍用機を隠した掩体壕（えんたいごう）など、複数の戦争遺構がまとまって残るのは県内でもここだけ。大戦末期の日本軍が拠点の軸足を移そうとしたことも分かる重要な場所」と指摘。「戦争遺構は歴史を知る身近な教材として残しておかなければならない。土地を入札した法人には、一部でも遺構を見ることができるように残してほしい」と望んでいる。（榊原織和）</p>	アリオン
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>  <a href="https://readyfor.jp/projects/shimane_sensouseiki/...">・島根県最大級の戦争遺跡“大社基地”緊急現地見学会 島根 ...</a>  <a href="https://readyfor.jp/projects/shimane_sensouseiki/...">https://readyfor.jp/projects/shimane_sensouseiki/...</a>  <small>ウェブ 島根 NEWS WEB「大社基地」跡地 法人が落札 “大社基地”は、1945年（昭和20）3月ごろから6月ごろにかけて建設され、敗戦までの間、爆撃機「銀河」を主体とした、当時 ...</small> </li> <li>  <a href="https://www.taishakichi.com/大社基地講座">大社基地講座   大社基地の明日を考える会</a>  <a href="https://www.taishakichi.com/大社基地講座">https://www.taishakichi.com/大社基地講座</a>  <small>ウェブ 大社基地の明日を考える会 事務局（〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学法文学部 現代史学研究室） 講演 菊池 実 先生（元 中国・四川外国語大学教授）「戦争遺跡の ...</small> </li> <li>  <a href="https://archaeology.jp/2022/06/24/taisya">「大社基地遺跡群主滑走路跡」南側の市道予定地の保存に ...</a>  <a href="https://archaeology.jp/2022/06/24/taisya">https://archaeology.jp/2022/06/24/taisya</a>  <small>ウェブ 2022年6月24日・大社基地およびそれに附属する遺跡群（以下、大社基地遺跡群と呼ぶ）は、アジア・太平洋戦争当時における海軍航空基地の遺構を良好にとどめる、全国 ...</small> </li> </ul>	

<p>31</p>	<p>2021年03月07日 16:20</p> <p><b>■旧大社基地 アリオンが取得 地元関係者と活用策協議</b></p> <p>シェア ツイート LINEで送る noteで書く</p> <p>山陰中央新報 2021年3月6日 「戦後史会議・松江」若槻真治代表 「門戸を開いて意見を聞いてもらえたらうれしい。行政も一緒になって考える足がかりができればよい」と協議の場の設置に期待を寄せた。</p>  <p>・旧大社基地 アリオンが取得 地元関係者と活用策協議</p> <p>山陰中央新報 2021年3月6日「戦後史会議・松江」若槻真治代表「門戸を開いて意見を聞いてもらえたらうれしい。行政も一緒になって考える足がかりができればよい」と協議の場の設置に期待を寄せた。</p> <p>戦後史会議・松江</p>	<p>若槻真治代表 コメント</p>
<p>32</p>	<p><a href="https://drive.google.com/file/d/1rPCL3Jcvq8NmdiChxIE5V4vRrNG3K98F/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/1rPCL3Jcvq8NmdiChxIE5V4vRrNG3K98F/view?usp=share_link</a> ビデオ 最後の特攻出撃隊長 中津留達雄 海軍大尉</p>	
<p>33</p>	<p><a href="https://drive.google.com/file/d/1nx5rwOibkpro9IQlpeK3DLoNVD8toKId/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/1nx5rwOibkpro9IQlpeK3DLoNVD8toKId/view?usp=share_link</a> 最後の特別攻撃隊 【宇垣中将 中津留大尉】 2013 年作成</p>	
<p>34</p>	<p><a href="https://drive.google.com/file/d/15cMdQ52DtMVKCUFY2enckFRV7OlfAsZj/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/15cMdQ52DtMVKCUFY2enckFRV7OlfAsZj/view?usp=share_link</a> 指揮官たちの特攻—幸福は花びらのごとく—一城山三郎／著 山陰の美保基地で教官をされていた中津留達雄大尉について</p>	
<p>35</p>	<p><a href="https://drive.google.com/file/d/1X5paFKfMS2bWsb9jgaNSL-qFGaVvrOIX/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/1X5paFKfMS2bWsb9jgaNSL-qFGaVvrOIX/view?usp=share_link</a> 20230102 鹿児島県鹿屋市 戦争の歴史</p>	
<p>36</p>	<p><a href="https://drive.google.com/file/d/1CV1dHn3x89beMWxz_YxQPzEb0QtsNZ6/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/1CV1dHn3x89beMWxz_YxQPzEb0QtsNZ6/view?usp=share_link</a> 20230102 自衛隊鹿屋基地 米軍無人機の運用始まる 無人機配備は初</p>	
<p>37</p>	<p><a href="https://drive.google.com/file/d/1ukjN-rVe5ubG7fSxp3n24KZzz_9AcBIg/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/1ukjN-rVe5ubG7fSxp3n24KZzz_9AcBIg/view?usp=share_link</a> 増田善信 先生 理学博士、気象学者 について 太平洋戦争中に米子の美保航空隊、出雲の大社基地で海軍少尉として天気予報をご担当</p>	
<p>38</p>	<p>ご参考 2022年7月28日 日本ビジネス・インテリジェンス協会 31周年記念・第177回 ビジネス・インテリジェンス情報研究会のZoom記録 1. 『34年後に甦った黒い雨の増田雨域』 増田善信・理学博士 <a href="https://drive.google.com/file/d/1Lmf-onEgqOsMSdtVWSalbPnWG2Olnjkc/view?usp=sharing">https://drive.google.com/file/d/1Lmf-onEgqOsMSdtVWSalbPnWG2Olnjkc/view?usp=sharing</a></p>  <p>講演録画 0:00:00～0:36:54 『34年後に甦った黒い雨の増田雨域』 増田善信</p>	
<p>39</p>	<p><a href="https://drive.google.com/file/d/1KIMS7NjwvxmpOHatnWXy_UuuD38raf8b/view?usp=share_link">https://drive.google.com/file/d/1KIMS7NjwvxmpOHatnWXy_UuuD38raf8b/view?usp=share_link</a> 20220705 増田善信先生「気象と科学」(島根県立図書館蔵) 抜粋</p>	